

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 乳幼児保健事業	
区分	番号	名称	
章	1	やさしさと共生するまち	
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる	
施策	2	保健予防活動の充実	
小分類	2	母子保健の充実	
主要な施策	1	妊産婦や乳幼児の保健指導の推進	
事務事業番号	006	事務事業コード 12221006	事業開始年度 昭和 5 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名
部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
統合前または名称変更前の事業名	乳幼児健康診査事業・乳幼児保健指導事業		

事務事業の目的と成果	
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 乳幼児期における子どもの順調な成長・発達を促すとともに、養育者への子育て支援により虐待の未然防止を図る。
手段(事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査 小児科医・歯科医師による診察、保健師・栄養士による育児相談・栄養指導、臨床心理士等による発達相談、 歯科衛生士による歯科指導、看護師による計測を行う 回数 各月1回 会場 しんた21 乳幼児相談 栄養士による離乳食や食事に関する相談や保健師による育児相談、看護師による身体計測、子育て支援センターの 保育士による遊びの紹介を行う。 回数 月1回 会場 しんた21 母子訪問指導 保健師・助産師が家庭訪問し、母子が抱えているニーズに対応し、健康の保持増進のため保健指導を行う。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 乳幼児期における子どもの順調な成長・発達を促し健康の保持・増進が図られる。 また、養育者への支援により育児不安・育児負担が軽減され、良好な親子関係を維持し、虐待の未然防止が図られる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 母子保健法、健康増進法

指標の推移								
成果指標	4か月健康診査受診数	人	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
		目標値	330	330	330	330	330	
	乳児(新生児)訪問実施数	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	308					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	2,555	2,643	2,671	2,671	2,671	8,013
合 計			2,555	2,643	2,671	2,671	2,671	8,013
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	5,536	5,685			
		嘱 託 員	千円	536	578			
		臨時職員	千円	1,911	1,956			
		合 計		7,983	8,219			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 虐待の未然防止や食育等子育てを地域で支えていくことは、重要な支援であり市の事業として実施していくことは妥当と考える
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 健診・訪問・相談により養育者が育児の不安を軽減したり、発育発達の確認をできる場として本事業は非常に有効である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 健診は個人通知・広報誌掲載により継続して行い受診勧奨をしていく、訪問については目標を達成しているが今後も推進していく必要がある。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 経費の大半は、健診にかかる室蘭市医師会、歯科医師会への委託料や事業に必要な消耗品であり、必要最低限であることからこれ以上の削減はできない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	順調な育児を支援し、健全な成長発達を促がす場とし、良好な親子関係を維持することは虐待の未然防止につながり事業を継続して実施していくことは必要である。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）